



## 市 紋 章

旭日に躍動する黒潮をあしらい、躍進する港湾都市を象徴したもの。  
昭和16年11月23日の市制施行を記念して、翌昭和17年4月に制定。



市 の 木  
〔塩竈桜〕



市 の 花  
〔白菊〕



## 塩 竈 市 の ロ ゴ マ ー ク

(平成20年3月決定)



## 塩竈シティプロモーションロゴマーク

(令和3年11月決定)

塩竈市市制80周年を記念し、これからの未来に向けて、塩竈の魅力を守り育てていくための象徴として、一般公募により決定。

### 《ロゴマークに込めた塩竈の魅力のイメージ》

歴史ある鹽竈神社の門前町、地域の発展を支えた港町として培われた特有の地域資源や、豊かな海の恵み、それらの魅力を体感できる暮らしをイメージしたものとなっています。

## はじめに

令和4年度版塩竈市統計書を刊行いたします。

令和2年10月に実施されました「国勢調査」の人口等基本集計では、全国の人口が平成27年調査と比較して0.7%減少し、宮城県においても前回に引き続き1.4%の減少となりました。

塩竈市の人口におきましては、平成7年をピークとして減少傾向にあり、令和2年国勢調査では、52,203人と前回の平成27年調査から3.7%減少しました。

少子高齢化の進展に伴う人口減少や年齢構成の変化は、生産年齢人口の減少にも影響を及ぼし経済成長の制約となるほか、現役世代の租税や社会保障などの負担が増大する要因の一つとなります。

さらに、新型コロナウイルス感染症につきましては、国内での発生から3年以上が経過し、令和5年5月から「5類感染症」に移行。ようやく行動制限のない生活が戻り始めました。

しかし、令和3年6月に実施されました「経済センサス-活動調査」の結果では、飲食店数が240事業所となり前回の平成28年調査と比較すると21.6%減少しています。感染症の影響がすべての要因であるとは限りませんが、一因となっていることは確かで、引き続き注視していく必要があります。

この統計書は、変化している社会情勢の中で、将来を洞察し対応していくため、本市の全般的な統計資料を収録し、市勢の現況と推移を明らかにしようとするものです。

編集にあたりましては、統計の継続性・効率的利用を考慮しながら、「より見やすく、より活用しやすく」を基本として可能な限り、最新のデータを取り入れるよう努めました。

また、パソコンでもご利用いただけるよう塩竈市ホームページにも掲載しておりますので、ご活用いただければ幸いと存じます。

本書編集にあたり、貴重な資料をご提供いただきました関係機関並びに関係各位に深く感謝の意を表しますとともに、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月

塩竈市長 佐藤光樹

## 利用にあたって

1. この統計書は、本市の市勢各分野にわたり重要で基礎的な統計資料を収録したものです。
2. 資料はできるだけ最近の調査を掲載し、時系列にそって併載しています。
3. 資料の出所は各表の脚注として表示しました。
4. 特に注記のない限り、暦年間（1月～12月）、年度は会計年度（4月～翌年3月）、期日を記してある場合はその期日現在の事実を示しています。
5. 表示単位は原則として表の右上はしに示しました。
6. 数字の表示桁数未満は、四捨五入することを原則としました。したがって、合計の数字と内訳の計が一致しないこともあります。
7. 数字及び記号について
  - 0 …………… 表章単位に満たないもの
  - …………… 該当数字のないもの、または数字が得られないもの
  - x …………… 該当数字はあるが、公表できないもの
  - △ …………… マイナス（負数）
8. さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義がある場合には総務部政策課に照会して下さい。

電話：022（355）5749

内線：335